

2013 お盆期間中の旅客実績

国内各社が発表した、お盆期間中(8月9～18日の10日間)の旅客実績をとりまとめた。

1. 国内線はとても好調、国際線も好調！

国内線;供給席数は、2年目のLCCが昨年の2.7倍になったほか、中堅3社(ADO、SNA、SFJ)やANA、JALも羽田の発着枠増などにより増加、全体で+8%の増となった。旅客の増加はそれを上回る+11%であった。

国際線;全体の供給席数増+6%、旅客増も+6%だった。

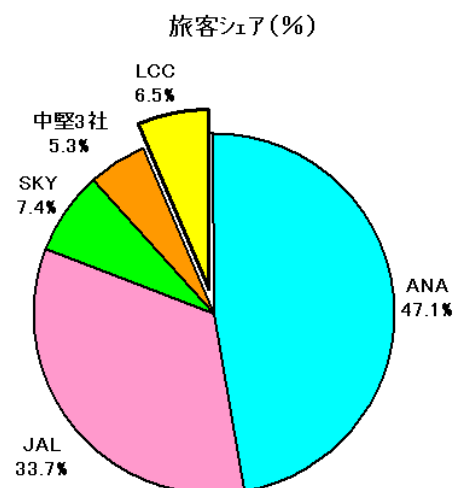
ANAが昨年を下回ったのは、系列のPeachやAirAsia-Japanが増便した関係で、アジア線の規模を絞り込んだことによる。

JALは+4%の旅客増となり、昨年不調だったSFJ(北九州=釜山線)も、高い増率となった。

2. LCCの旅客シェアは6.5%に！

LCCは国内線で更に旅客シェアを拡大し、6.5%となった(昨年は2.8%)。国際線も、ANA+JALの旅客数(100とすると)に対し、7.1となった(昨年は2.7)。

LCCは国内線でのシェアは中堅3社を抜き、SKYにも肉薄している。



3. 搭乗率の比較； Peach は国内、国際ともにトップ！

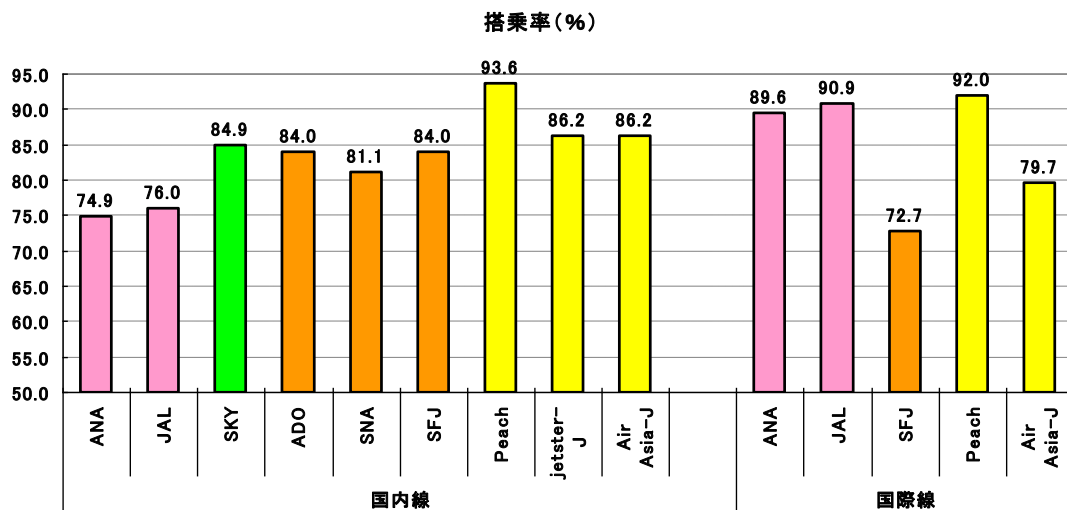
国内線；ANA と JAL は 70% 台半ばで、他社より低い。

SKY と中堅 3 社は 80% 台前半。

LCC は Peach が 93.6% と目だって高かったが、Jetstar-Japan と AirAsia-Japan も 86.2% と高いレベルだった。

国際線；ANA と JAL は約 90%、Peach はそれを上回る 92%。

AirAsia-Japan も約 80% だったが、SFJ は 72.7% にとどまった。



お盆期間 実績

(8/9~8/18 計10日間)

【国内線】	今期					前年との比較				
	座席数	シェア	旅客数	シェア	搭乗率	席数増	率	旅客増	率	搭乗率差
	千席	%	千人	%	%	千席	%	千人	%	ポイント
ANA	2,061	48.5	1,543	47.1	74.9	54	103	79	105	1.9
JAL	1,452	34.2	1,104	33.7	76.0	33	102	48	105	1.6
SKY	286	6.7	243	7.4	84.9	33	113	41	120	5.1
ADO	78		66		84.0	5	106	3	105	-1.3
SNA	68	4.9	55	5.3	81.1	11	120	14	134	8.6
SFJ	64		54		84.0	18	138	20	158	10.7
Peach	82		77		93.6	42	207	39	206	-0.7
jetster-J	126	5.7	109	6.5	86.2	97	438	83	421	-3.3
AirAsia-J	32		28		86.2	11	153	9	144	-4.9
合計	4,250	100	3,278	100	77.1	304	108	335	111	2.5

【国際線】	座席数	シェア	旅客数	シェア	搭乗率	席数増	率	旅客増	率	搭乗率差
	千席	%	千人	%	%	千席	%	千人	%	ポイント
ANA	243	100	217	100	89.6	-1	100	-2	96	-0.5
JAL	293		266		90.9	10	104	11	104	0.5
SFJ	6	1.1	4	0.9	72.7	0	102	1	125	13.8
Peach	22	7.4	20	7.1	92.0	7	150	7	156	3.3
AirAsia-J	18		14		79.7	18		14		
合計	581		522		89.8	35	106	31	106	0.0

以上 (Y. A)